

PRESS RELEASE

2024年2月22日
一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)

「フォトイメージングマーケット統合調査：国内編」の結果について

一般社団法人カメラ映像機器工業会（CIPA：代表理事会長 池上博敬）は、デジタルカメラ及びスマートフォンのユーザーを対象に「フォトイメージングマーケット統合調査：国内編」を実施した（調査委託先 株式会社BCN：代表取締役社長 奥田芳恵）。

デジタルカメラユーザーの回答で象徴的なものに「外出や旅行が楽しくなった」がある。

意を決してデジタルカメラを購入、手にするやいなやライフスタイルが俄然アクティブになる、「風景・夜景」を撮りに山に分け入る、「花・植物」を撮りに全国の植物園にお出掛けする、「国内旅行」「海外旅行」へとモチベーションが高まる、それこそがデジタルカメラのある暮らしであって、それこそが当業界の誇りであることを、当調査シリーズは強く実感させてくれるものとなっていた。

しかしながら、そうした「おそとアイテム」「お出掛けアイテム」を代表するかのような製品キャラクターに、皮肉にも、まさかということではあったが、コロナ禍が立ち塞がった。

当最新調査は、コロナ禍の暗雲が晴れつつある 2023 年の末に実施した。「おそと需要」「お出掛け需要」をどこまで復活できたかが最大の注目点となる。

「フォトイメージングマーケット統合調査：国内編」実施概要

1. 調査手法

Web 調査

2. 調査実施時期

2023 年 12 月上旬

3. 調査対象者

日本国内、女性・男性、10 代～70 代。

「本調査」は、レンズ交換式デジタルカメラ、コンパクトデジタルカメラ、スマートフォンのいずれかで写真を撮影している方。

4. サンプル数

本調査 1,000 名、予備調査 4,876 名

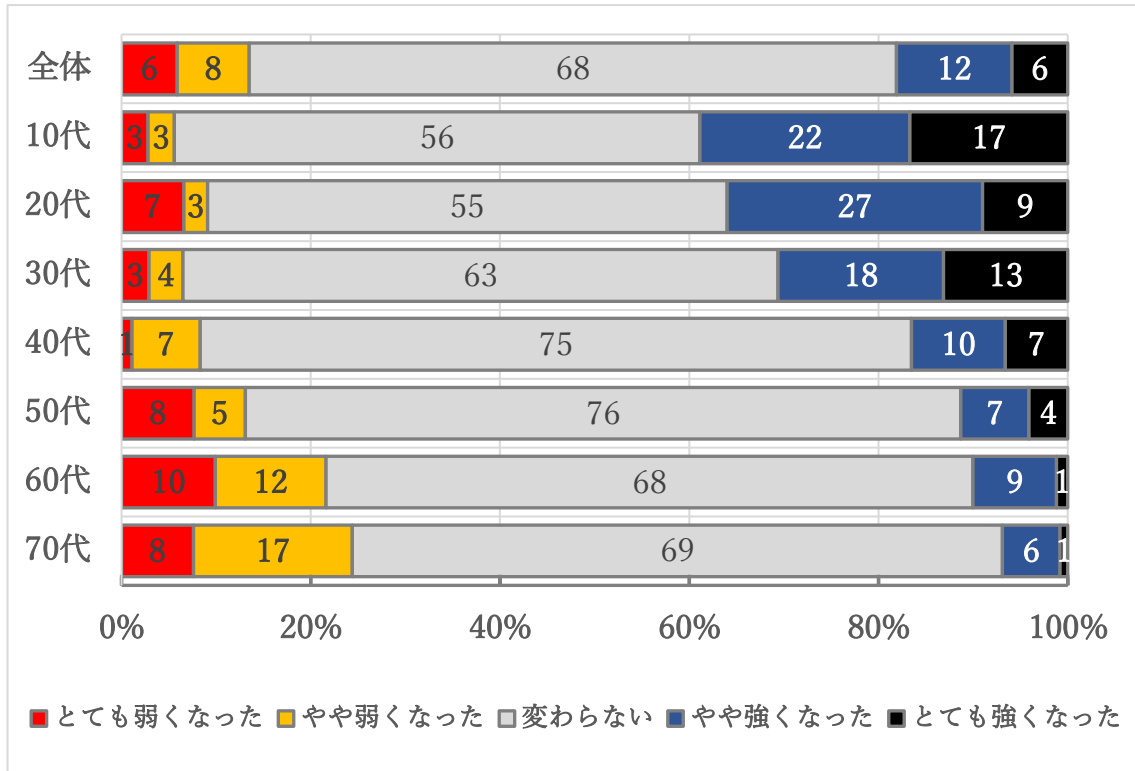
「本調査」は、レンズ交換式デジタルカメラ、コンパクトデジタルカメラを各 300 名、最小サンプルとして割り当てた（併用について重複あり）。

「フォトイメージングマーケット統合調査:特別編」結果概要

当調査は、「写真」をメインテーマとしつつもデジタルカメラ、スマートフォン、どちらにおいても有力な訴求点の一つである「動画」関連の設問も加えた。

● 脱コロナで撮影意欲が復活。「10代」「20代」「30代」の「写欲」高まる。

✓ 『写真』撮影意欲の変化



「2020～2022年のコロナ禍当時と現在の写真を撮る意欲」の変化を聞いた。

「全体」の計18%が『強くなった』（「とても強くなった」＋「やや強くなった」）としており、若年層においてこうした傾向が鮮明になる。

意欲が『強くなった』は、「10代」のおよそ4割、39%、「20代」もこれに近く36%、「30代」も31%に上った。

n 全体1000、10代36、20代122、30代137、40代181、50代222、60代171、70代131

● **撮影対象はコロナ禍前に近づくも、「おそと需要」完全復活へは道半ば。**

✓ **撮影対象（被写体）ランキング：『写真』対『動画』（複数回答／上位）**

写真			動画	
風景・夜景	51.7%	第1位	国内旅行	34.7%
国内旅行	46.3%	第2位	子ども・孫	31.8%
子ども・孫	30.1%	第3位	風景・夜景	28.2%
花・植物	28.8%	第4位	ペット・動物	25.1%
料理	27.1%	第5位	夫・妻・恋人・パートナー	20.4%
メモ撮り	24.7%	第6位	友人・知人	16.0%
ペット・動物	24.3%	第7位	仲間との行事	14.7%
夫・妻・恋人・パートナー	23.6%	第8位	学校行事	13.4%
スナップ・街撮り	21.0%	第9位	海外旅行	13.3%
友人・知人	19.1%	第10位	テーマパーク・遊園地	13.3%
仲間との行事	19.0%	第11位	スナップ・街撮り	12.5%
テーマパーク・遊園地	15.0%	第12位	料理	12.2%
海外旅行	14.2%	第13位	スポーツ	11.8%

外出と強く結び付く撮影対象（被写体）を太字とした。

直近でデジタルカメラだけではなくスマートフォンも加えて「写真」の調査を行ったのは2019年。コロナ禍に直面する前年であるが、当時の第1位「風景・夜景」（当時60.9%）、第2位「国内旅行」（当時51.3%）をはじめ第5位までの顔ぶれは今回も変わらない。

しかしながら、2019年に第7位であった「海外旅行」（当時25.4%）は今回第13位（14.2%）、第9位であった「テーマパーク・遊園地」（当時21.8%）は第12位（15.0%）に留まった。

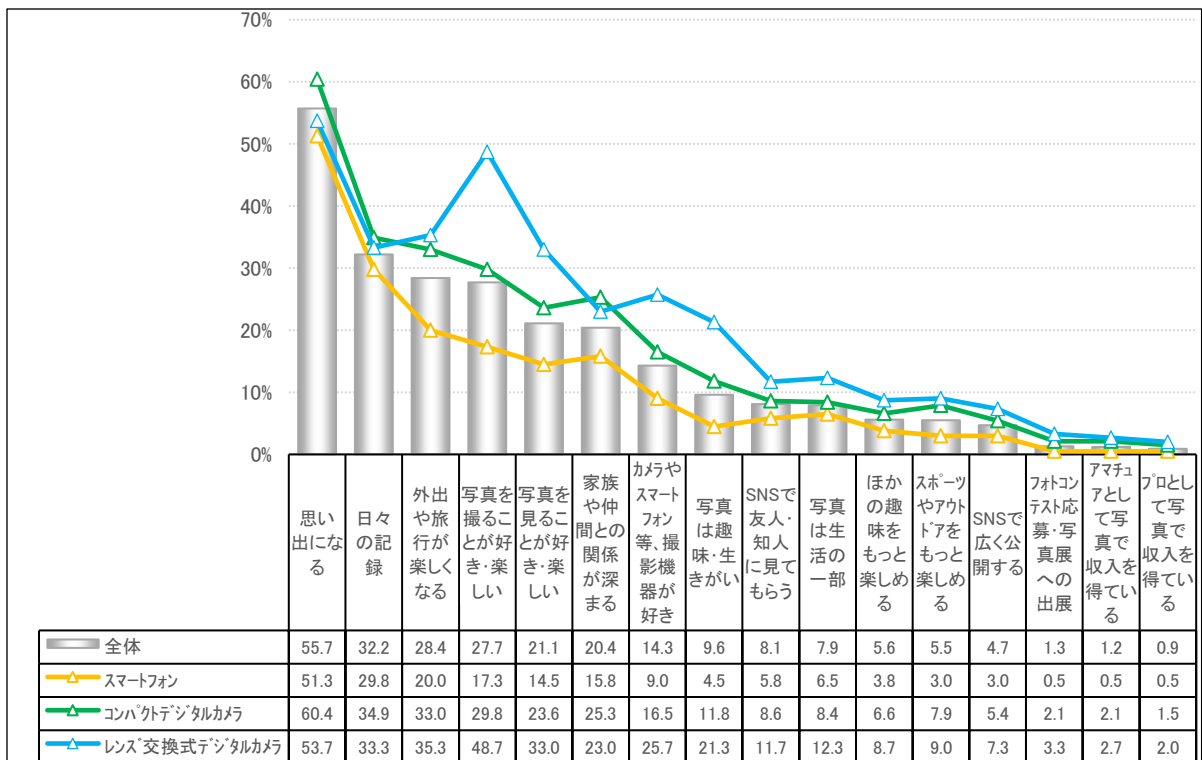
少なくとも撮影対象（被写体）の上では、「おそと需要」「お出掛け需要」の本格的復活を果たせたとはいまだ言い切れない状況にある。

「動画」の第1位は「国内旅行」（34.7%）。しかしながら、「仲間との行事」「学校行事」（入学式、運動会などビデオカメラ時代は春と秋の最大需要期を盛り上げる立役者だった）「海外旅行」「テーマパーク・遊園地」は、ランクとして10位以内であるものの、いずれも10%台に過ぎなかった。

n 1000

● 「撮ることが好き」「外出や旅行が楽しくなる」…だからデジタルカメラ。

✓ 撮影理由・モチベーション：『写真』（複数回答）



「あなたが写真を撮る理由は何ですか」として写真撮影のモチベーションを聞いた。

「全体」（撮影デバイス総合）の第1位は「思い出になる」。5割を超えた（55.7%）。

「思い出になる」は、当調査シリーズの初期段階はなかった選択肢であるが、2019年タイ国調査のフリーアンサーで数多く見受けられた言葉であったことから、その後、定番とした経緯がある。

あまりにも当たり前であるから、が当初は入れなかった理由であるが、AI画像生成という新たな画像アプローチが話題となる昨今の状況からは、「写真」にとってかけがえのない核となる要素を体現する言葉として、これが第1位である事実を真摯に受け止めたい。

「スマートフォン」では、第1位「思い出になる」（51.3%）、第2位「日々の記録」（29.8%）、第3位「外出や旅行が楽しくなる」（20.0%）。

デジタルカメラ・マーケットのおよそ8割を占めていまや大勢を成す「レンズ交換式デジタルカメラ」においては、第1位「思い出になる」（53.7%）、第2位「写真を撮ることが好き・楽しい」（48.7%）、第3位「外出や旅行が楽しくなる」（35.3%）。

両デバイスともに第3位となったのが「外出や旅行が楽しくなる」であるが、「レンズ交換式デジタルカメラ」の値が遥かに高い。コロナからの再生、「おそと需要」「お出掛け需要」の復活、そうした過程とのリンクは、「レンズ交換式デジタルカメラ」において、よりセンシティブといえる。

「レンズ交換式デジタルカメラ」で第2位の「写真を撮ることが好き・楽しい」は、「スマートフォン」

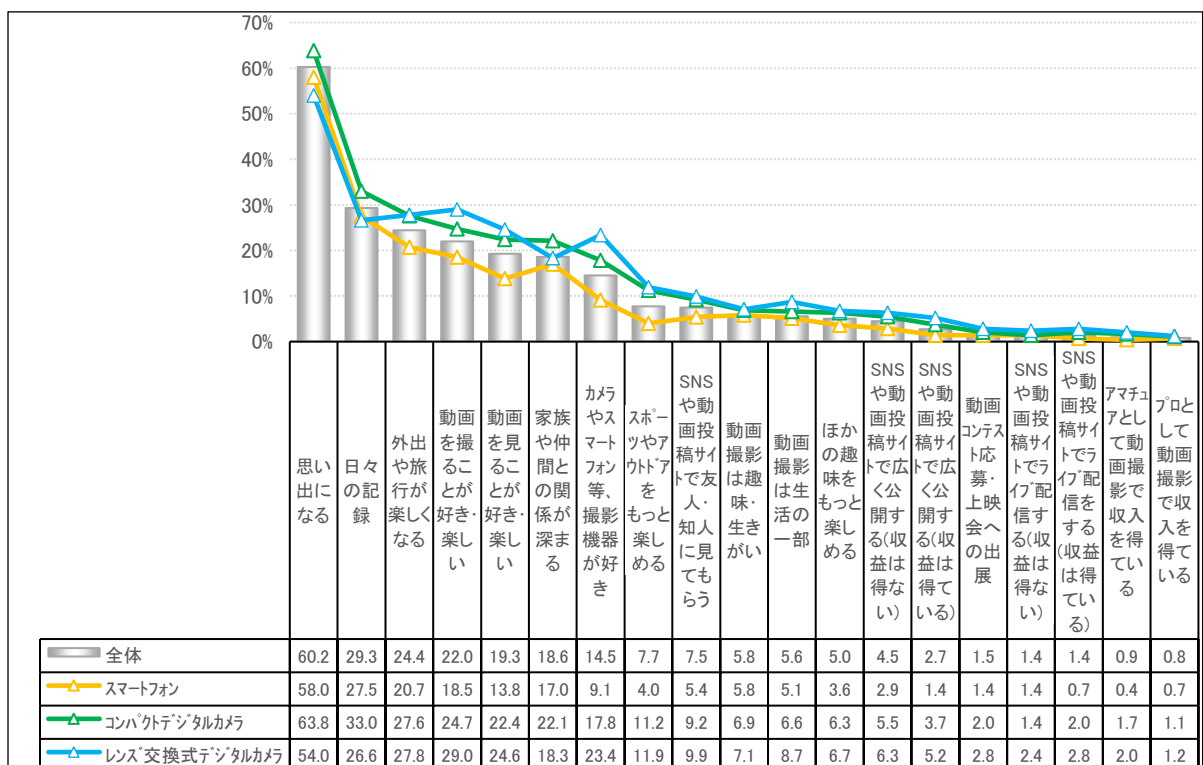
(17.3%)に対してほぼトリプルスコア。

ただし、両デバイスの違いということでは、トリプルどころでない大きな差を生じた選択肢が別に存在する。「全体」では中盤に位置する「写真は趣味・生きがい」は、「スマートフォン」の4.5%に対して「レンズ交換式デジタルカメラ」は21.3%だった。

n 1000 スマートフォン 400 (のみ)、コンパクトデジタルカメラ 467、レンズ交換式デジタルカメラ 300
図では選択肢「その他」「あてはまるものはない」は割愛した(下図も同様)。

● 動画撮影も「好き」「外出や旅行が楽しくなる」…だからデジタルカメラ。

✓ 撮影理由・モチベーション：『動画』（複数回答）



「動画」についてもモチベーションを聞いた。

「全体」(撮影デバイス総合)の第1位は「思い出になる」、60.2%。「写真」も第1位で55.7%と高かったが(「写真」は前ページ。以下同)、「動画」はこれを上回った。

「スマートフォン」では、第1位「思い出になる」(58.0%)、第2位「日々の記録」(27.5%)、第3位「外出や旅行が楽しくなる」(20.7%)。

「レンズ交換式デジタルカメラ」では、第1位「思い出になる」(54.0%)、第2位「動画を撮ることが好き・楽しい」(29.0%)、第3位「外出や旅行が楽しくなる」(27.8%)。

「外出や旅行が楽しくなる」はともに第3位であるが、「写真」で見られた傾向と同様、値の上では「レンズ交換式デジタルカメラ」が「スマートフォン」を上回った。

n 737 スマートフォン 270 (のみ)、コンパクトデジタルカメラ 348、レンズ交換式デジタルカメラ 252

● 「レンズ交換式デジタルカメラ」は「本気で」「ありのまま」を撮れる。

✓ 良い点：レンズ交換式デジタルカメラ対スマートフォン（複数回答／上位）

レンズ交換式デジタルカメラ			スマートフォン	
写真がきれいに撮れる	53.7%	第1位	写真がきれいに撮れる	47.5%
動画がきれいに撮れる	25.5%	第2位	気軽に写真が撮れる	39.9%
本気で写真が撮れる	22.7%	第3位	動画がきれいに撮れる	32.0%
レンズを交換できる	21.0%	第4位	気軽に動画が撮れる	30.8%
ありのままの美しさを引き出した写真が撮れる	20.4%	第5位	本体が軽い・小さい	27.4%
遠くのを大きく写せるズームレンズが使える	15.1%	第6位	パソコンに写真や動画ファイルを保存できる	21.0%
ファインダーで見ながら撮影できる	15.0%	第7位	撮影した写真から不要なものを削除できる	17.1%
シャッタースピードを変えられる	14.8%	第8位	容量を気にしないで撮れる	12.5%
パソコンに写真や動画ファイルを保存できる	13.9%	第9位	パソコンで写真や動画を編集できる	12.1%
背景をきれいにぼかして撮れる	12.5%	第10位	ありのままの美しさを引き出した写真が撮れる	11.7%

「現在所有している機器に限らずレンズ交換式デジタルカメラ全般」「現在所有している機器に限らずスマートフォン全般」として「良いと思う点」を聞いた。

ともに第1位は「写真がきれいに撮れる」であって、「レンズ交換式デジタルカメラ」は53.7%、「スマートフォン」は47.5%。両デバイスの値に決定的といえるほどの差はなかったが、「レンズ交換式デジタルカメラ」は、では一体どのように「きれい」へと心置きなくアプローチできるのか、それを具体的に示す選択肢が続々と、上位に並んだ（相当するものを太字とした）。

「レンズ交換式デジタルカメラ」第3位、22.7%の「本気で撮れる」は、「スマートフォン」では上位圏を大きく外れて第24位、3.0%。「レンズ交換式デジタルカメラ」第5位、20.4%の「ありのままの美しさを引き出した写真が撮れる」は、「スマートフォン」では第10位、11.7%。これらと対極的な「スマートフォン」固有の機能、「撮影した写真から不要なものを削除できる」は「スマートフォン」第7位、17.1%だった。

n 1000

● 「SNSで写真を見る」は女性、「自宅プリント」は男性主導。

✓ 写真や動画の楽しみ方：男女別（複数回答／上位）

順位	全体		女性		男性	
	楽しみ方	割合	楽しみ方	割合	楽しみ方	割合
第1位	SNSで写真を見る	26.9%	SNSで写真を見る	30.9%	SNSで写真を見る	23.5%
第2位	SNSに写真を投稿	18.9%	SNSで動画を見る	19.5%	写真を自宅のプリンターでプリント	20.0%
第3位	SNSで動画を見る	18.4%	SNSに写真を投稿	18.6%	SNSに写真を投稿	19.1%
第4位	YouTubeで動画を見る	17.7%	YouTubeで動画を見る	18.4%	SNSで動画を見る	17.4%
第5位	写真を自宅のプリンターでプリント	15.5%	写真を自宅のプリンターでプリント	10.1%	YouTubeで動画を見る	17.2%
第6位	写真を加工・編集	10.2%	写真を加工・編集	7.7%	写真を加工・編集	12.4%
第7位	SNSに動画を投稿	8.9%	SNSに動画を投稿	7.2%	SNSに動画を投稿	10.2%
第8位	写真を写真店や家電店でプリント	7.2%	フォトブックやフォトグッズを作る	6.6%	写真を写真店や家電店でプリント	8.3%
第9位	フォトブックやフォトグッズを作る	7.2%	ネットのプリントサービスでプリント	6.3%	動画を加工・編集	8.1%
第10位	動画を加工・編集	6.6%	写真を写真店や家電店でプリント	5.9%	フォトブックやフォトグッズを作る	7.8%
第11位	ネットのプリントサービスでプリント	5.4%	動画を加工・編集	4.8%	写真仲間・動画仲間と交流	5.4%
第12位	写真仲間・動画仲間と交流	4.5%	写真仲間・動画仲間と交流	3.5%	YouTubeに動画を投稿	5.0%
第13位	YouTubeに動画を投稿	3.7%	写真展を見る・写真集を買う	3.5%	ネットのプリントサービスでプリント	4.6%

「写真や動画の楽しみ方」を聞き、男女別に上位を挙げた。また、男女の差が3%以上開いたものを太字とした。

「SNSで写真を見る」は「女性」30.9%、「男性」23.5%、「写真を自宅のプリンターでプリント」は「男性」20.0%、「女性」10.1%、それぞれ大きく差が開いた。

プリント関連では、「ネットのプリントサービスでプリント」は「女性」6.3%が「男性」4.6%を逆転する。

なお、年代別では、「10代」からは「50代」までは「SNSで写真を見る」が第1位で変わらないが、「10代」（55.6%）、「20代」（47.5%）、「30代」（44.5%）、「40代」（28.7%）、「50代」（18.0%）と年代が上がるに連れて低減する傾向が見られた。

「60代」の第1位は「写真を自宅のプリンターでプリント」で、17.5%。

「70代」も同様であるが、32.8%に達した。

n 1000 女性 457、男性 540

10代 36、20代 122、30代 137、40代 181、50代 222、60代 171、70代 131

● 期待されるのは、撮影性能を高く保った「小型軽量」「安価」なカメラ。

✓ カメラメーカーへの期待：男女別（複数回答／上位）

順位	全体		女性		男性	
	期待される内容	割合	期待される内容	割合	期待される内容	割合
第1位	安価なデジタルカメラの発売	25.2%	小型軽量なデジタルカメラの発売	24.7%	安価なデジタルカメラの発売	28.1%
第2位	小型軽量なデジタルカメラの発売	23.7%	安価なデジタルカメラの発売	21.9%	写真撮影性能が高いデジタルカメラの発売	25.2%
第3位	写真撮影性能が高いデジタルカメラの発売	21.6%	写真撮影性能が高いデジタルカメラの発売	17.5%	小型軽量なデジタルカメラの発売	23.0%
第4位	安価な交換レンズの発売	12.7%	動画撮影性能が高いデジタルカメラの発売	11.4%	安価な交換レンズの発売	15.6%
第5位	動画撮影性能が高いデジタルカメラの発売	12.6%	安価な交換レンズの発売	9.4%	動画撮影性能が高いデジタルカメラの発売	13.7%
第6位	小型軽量な交換レンズの発売	11.3%	小型軽量な交換レンズの発売	9.2%	小型軽量な交換レンズの発売	13.1%
第7位	写真撮影性能が高い交換レンズの発売	8.5%	写真撮影性能が高い交換レンズの発売	4.8%	写真撮影性能が高い交換レンズの発売	11.7%
第8位	動画撮影性能が高い交換レンズの発売	4.4%	動画撮影性能が高い交換レンズの発売	3.3%	動画撮影性能が高い交換レンズの発売	5.4%
第9位	デジタルカメラの使い方についての情報発信	4.0%	写真・動画を保存するクラウドサービスの提供	3.3%	デジタルカメラの使い方についての情報発信	4.8%
第10位	写真・動画を保存するクラウドサービスの提供	2.9%	デジタルカメラの使い方についての情報発信	3.1%	フォトコンテストの開催	3.7%
第11位	写真・写真家・写真集を学ぶ・知る企画	2.9%	写真・写真家・写真集を学ぶ・知る企画	2.2%	写真・写真家・写真集を学ぶ・知る企画	3.5%
第12位	カメラ関連ウェブサイトを通じた製品情報発信	2.8%	好きな写真を撮り続けるためのマナー講座	2.2%	カメラ関連ウェブサイトを通じた製品情報発信	3.5%
第13位	フォトコンテストの開催	2.8%	写真が好きな人たちが集まって一緒に話せる企画	2.2%	好きな写真を撮り続けるためのマナー講座	3.0%

「カメラメーカーに期待することはなんですか」とする極めて率直な設問を設けた。

「全体」第1位「安価なデジタルカメラの発売」（25.2%）、第2位「小型軽量なデジタルカメラの発売」（23.7%）、第3位「写真撮影性能が高いデジタルカメラの発売」（21.6%）。

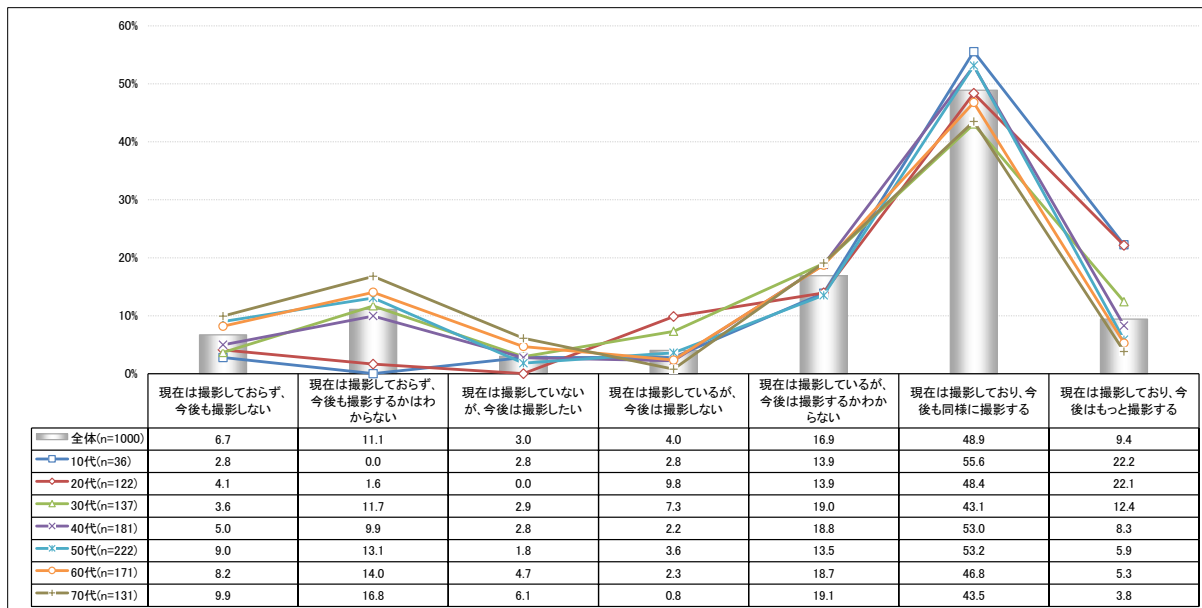
「女性」第1位は「小型軽量なデジタルカメラの発売」（24.7%）、「男性」第1位は「安価なデジタルカメラの発売」（28.1%）。男女とも第1位にならなかったが、「写真撮影性能」を高く保った上で、が期待される。

表では「写真」の「撮影性能」、「動画」の「撮影性能」を色を分けて網掛けした。「写真」先行ではあるが、「動画」も差別化ポイントとして打ち出される現状と一致する。

n 1000 女性 457、男性 540

● 「20代」「30代」の2割超は、動画を「今後もっと撮影する」。

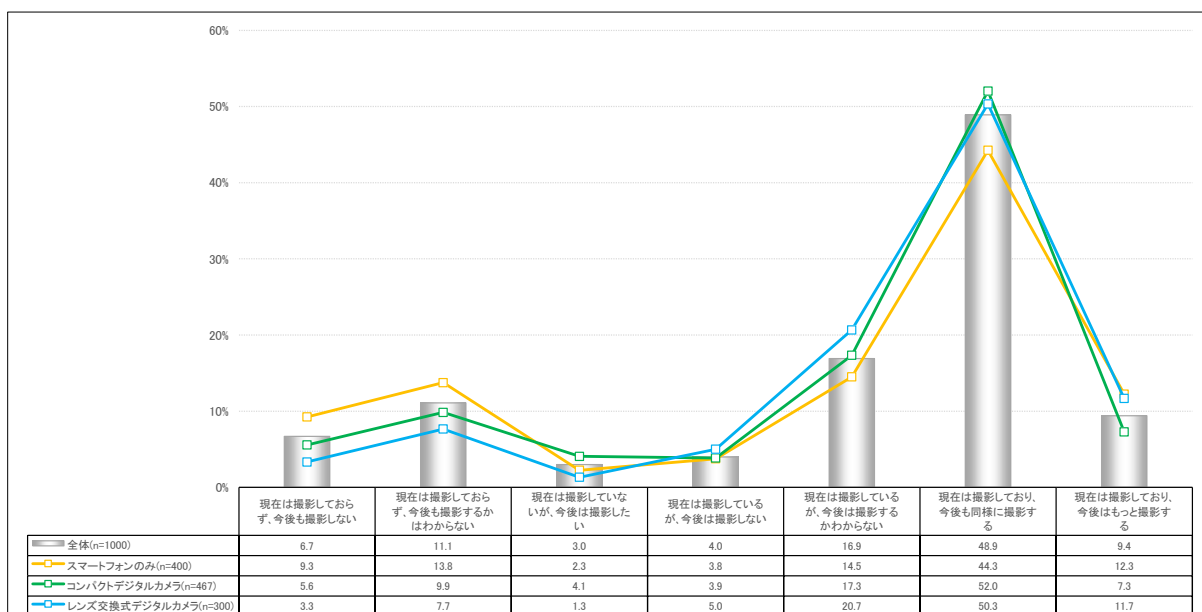
✓ 『動画』撮影の現在と今後：年代別（複数回答／上位）



最もネガティブな回答は中央「現在は撮影しているが、今後は撮影しない」。

これに対して最もポジティブな回答は右端「現在は撮影しており、今後もっと撮影する」であり、すべての年代でネガティブな中央を大きく上回る。中でも「10代」(22.2%)、「20代」(22.1%)は、当資料冒頭で挙げた「写真撮影の意欲の変化」と同様、イキの良さを見せつけてくれた。

✓ 『動画』撮影の現在と今後：撮影機器別（複数回答／上位）



撮影機器別では、「スマートフォン」において、左側3つ、現在は撮影していないことを前提とする回答がやや目立った。

●**対動画、究極の選択は写真が圧倒。写真は「一瞬を切り取る美学・醍醐味」。**

✓ **フリーアンサー：『写真』派对『動画』派**

今回のフリーアンサーは、「写真と動画、どちらが好きですか」とした。

難問とも愚問ともいえるかもしれないが、あえて頭を捻っていただくことをお願いした。

やはり言葉をいただいた方は半数に届かなかったが、その声は、特定のキーワードに集中するものだった。

フリーアンサー：写真と動画、どちらが好きですか？ 内容別分類：「写真」派(写真が好き) ランキング		
第1位	58人	瞬間を切り取る美学・醍醐味
第2位	55人	気軽に撮れる・慣れている
第3位	31人	思い出になる
第4位	28人	見る楽しさ・見易さ
第5位	23人	表現力の高さ
-	32人	その他
-	102人	「写真が好き」…理由明記なし
計	329人	

『写真』 **第1位：瞬間を切り取る美学・醍醐味。**

「瞬間」「一瞬」「切り取る」は、正に「写真」派のキーワード、パワーワードだった。

- ▶ 「一瞬を切り取るという点で興味深いから」(10代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「緊張感がいいから」(10代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「上手く撮れた時はすごく嬉しいし、一瞬を切り取るのがすごく楽しい」(20代・女性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「撮りたいと思う瞬間に身を任せて1番自分らしくいられる時間なので大切にしています」(20代・女性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「一瞬にこだわりたいので」(20代・男性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「ある一瞬を一枚のものに納められることが良いと思うから」(20代・男性／スマートフォン)
- ▶ 「一番いい瞬間を撮るのが難しいけど、撮れた時の満足感が好き」(30代・女性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「その一瞬で、色んなことを想像できるから」(30代・女性／スマートフォン)
- ▶ 「ダイナミックな一瞬を残せる」(40代・女性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「瞬時をとらえることができるのは写真であると思う。シャッターチャンスをとらえることが好きだ」(50

代・女性／レンズ交換式デジタルカメラ)

- ▶ 「その刹那、一瞬を捉えたものに魅力を感じるから」(50代・女性／スマートフォン)
- ▶ 「動画では見逃してしまうような一瞬の絶妙なシーンを残したい」(50代・女性／スマートフォン)
- ▶ 「一発勝負なので」(50代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「一瞬の実態を残せることにドキドキ感がある」(50代・男性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「一瞬の美しさを捉えることができるのは写真撮影の最大の特徴の一つであって、動画撮影ではできないものではないから」(50代・男性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「世界が止まるのがよい」(50代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ))
- ▶ 「一瞬の切り取りに醍醐味がある」(60代・男性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「瞬間の美を追求したい」(60代・男性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「時間や被写体を独自の視点で切り取るのが面白い。動画は編集が面倒くさい」(60代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「被写体の一瞬を切り取ることが好きだから」(60代・男性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「ある瞬間、その一瞬の感動を定着させることができる。素晴らしい」(70代・女性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「その瞬時性が、好きで、伝えたい」(70代・男性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「一瞬のチャンスを捉える」(70代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「瞬間を切り取る喜びがある」(70代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「写真撮影が好きなのは、瞬間の動きや表情を一瞬で切り取ることができる緊張感だ。失敗も多いし、満足する結果はまれだが、瞬間を切り取る緊張感と充実感がたまらなく素晴らしい。」(70代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「その瞬間に集中してシャッターを押すときが楽しいと感じるから」(70代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「数十年写真家として生活していて、その時だけのピンポイントの感動する写真が好きだから」(70代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「その一瞬の美しさが残せる」(70代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)

写真が好きか？動画が好きか？などという無責任極まりない丸投げに圧倒的な熱量でご回答いただいた。こうした報告書では、恐らくは数例に絞らなければいけないのがセオリーであるが、「写真」の本質に触れる言葉の嵐に、どうしても絞りようがなかったことを、ご了承いただきたい。

「決定的瞬間」、アンリ・カルティエ＝ブレッソン殿、「写真」は、ここまで来ました。

『写真』 第2位：気軽に撮れる・慣れている。

- ▶ 「簡単だから」(10代・女性／スマートフォン)
- ▶ 「手軽にすぐ撮れるから」(20代・女性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「昔は写真メインだったので、そっちの方が慣れている」(50代・男性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「気軽に撮れるし、トリミングもできて、記録も出来るので。動画撮影は今の時代は周りに配慮しなくてはならないので、撮りづらいです」(50代・女性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「手軽に何枚も写せるから」(50代・女性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「慣れてるからかな？」(50代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)

『写真』 第3位：思い出になる。

- ▶ 「思い出の一瞬を切り取る感じ。後に見返した時にその時の情景を思い起こさせてくれる」(10代・女性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「動画撮影よりリアルな思い出として残るから」(20代・男性／スマートフォン)
- ▶ 「大切な思い出を気軽に見返す事ができたり共有できる」(30代・女性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「動画も楽しいですが、一瞬のタイミングで奇跡的に撮れた面白い写真のほうが笑えるし、思い出になり、好きです」(40代・女性／スマートフォン)
- ▶ 「写真のほうが思い出が蘇る。語り合える」(50代・女性／レンズ交換式デジタルカメラ)。
- ▶ 「思い出が表情として残せる」(60代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)

『写真』 第4位：見る楽しさ・見易さ。

- ▶ 「現像してアルバムに物として残せるから」(10代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「印刷してアルバムにしまうのが好きだから」(20代・女性／スマートフォン)
- ▶ 「静止画なので細かいところもじっくり見られるから」(20代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「飾れるから」(30代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「後で見返しやすから」(40代・女性／スマートフォン)
- ▶ 「プリントアウトして、好きな時にゆっくり見られて、懐かしんだり、楽しめる」(60代・女性／スマートフォン)

『写真』 第5位：表現力の高さ。

- ▶ 「美しく撮れたら嬉しいから」(10代・男性／スマートフォン)
- ▶ 「撮る人によって違いが顕著に見られ興味深いから」(20代・男性／レンズ交換式)
- ▶ 「静止画の方が綺麗に撮れるから」(30代・女性／レンズ交換式デジタルカメラ)
- ▶ 「うまく撮影できると嬉しいから」(30代・男性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「いかに実物に近く撮影できるか工夫している」(60代・女性／スマートフォン)
- ▶ 「奥深く面白い」(70代・男性／レンズ交換式デジタルカメラ)

フリーアンサー：写真と動画、どちらが好きですか？ 内容別分類：「動画」派（動画が好き）ランキング		
第1位	8人	見る楽しさ
第2位	7人	思い出になる
第3位	7人	状況が伝わる
-	11人	その他
-	11人	「動画が好き」…理由明記なし
計	44人	

『動画』 「見る楽しさ」「思い出になる」「状況が伝わる」。

「写真」との一対一の決戦、究極の選択となると、「動画」推しは極端に少なくなる。

見る楽しさ

- ▶ 「子供が面白いので、『みてね』で遠方の家族と共有できる」(40代・女性／スマートフォン)
- ▶ 「ストーリーとして編集するのが楽しい。思い出になる。BGMを入れてオシャレな感じで残せる」
(50代・男性／コンパクトレンズ交換式デジタルカメラ)

思い出になる

- ▶ 「ペットの撮影は動画の方がその時の記憶そのままが残せるので動画の方が好きです」(40代・男性／コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「思い出として行動を残せるから」(60代・男性／スマートフォン)

状況が伝わる

- ▶ 「その時の状況が伝わりやすい」(30代・女性／スマートフォン)
- ▶ 「動きがあることで実態感・現実感を感じることが出来、リアル感が有るからです」(40代・男性／コンパクトデジタルカメラ)

フリーアンサー：写真と動画、どちらが好きですか？
内容別分類：「どちらも」派(未指定含む) ランキング

第1位	24人	使い分けている
第2位	12人	思い出になる
-	24人	その他
-	33人	理由明記なし
計	93人	

「写真」「動画」「どちらも」派 「使い分けている」「思い出になる」。

「写真」と「動画」、「どちらも」とする回答、または未指定は、むしろ「動画」明示よりも多かった。

使い分けている

- ▶ 「その時々で写真や動画を撮りたい気持ちになるので、両方私にとって必要」(40代・女性/コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「写真は表情が印象的だし、動画は音声も含め、臨場感が伝わる」(60代・男性/コンパクトデジタルカメラ)
- ▶ 「花なら写真、運動会なら動画とその時に合わせて楽しみたい??」(60代・男性/スマートフォン)
- ▶ 「花や鳥、風景を撮るなら写真が好きです。ペットや子供、祭りは動画が面白い。どちらも外せない」(70代・女性/レンズ交換式デジタルカメラ)

思い出・記録になる

- ▶ 「どちらも好きですが、その瞬間をおさめられる素晴らしさが魅力かと思います。子育てしてる時の子供の姿や、外出先での1ページ…勿論、記憶にも残るのですが、その瞬間を写真や動画で残すことで、その記憶もより深いものになると思っています」(40代・女性/スマートフォン)
- ▶ 「写真は思い出、動画は記録として撮っている」(70代・女性/スマートフォン)

回答者の皆様に心より感謝申し上げます。

当工業会は、2024年2月22日(木)～同25日(日)、CP+2024を開催します。

当調査の結果は、CP+2024「CIPA マーケットセミナー」の中でもご報告を予定します。

● 本件問い合わせ先

一般社団法人カメラ映像機器工業会 CIPA

E-mail: infostat@cipa.jp